

○議長（高橋正博君）

日程第3、閉会中の継続調査結果報告を議題といたします。

本件に関し、各委員長の報告を求めます。

総務建設常任委員長 岡野能之君。

○総務建設常任委員長（岡野能之君）

おはようございます。

閉会中の令和3年5月26日と6月8日に総務建設常任委員会を開催いたしましたので、その内容を報告いたします。

5月26日に、総務課より新庁舎に必要な備品購入について説明がありました。

庁舎の什器・家具等の備品購入については、町内業者のうち主に什器備品・消耗品・パソコン関連の卸売業者3社と、卸売を手掛けている家具店3社の計6社から見積り入札を行った。

落札者の決定方法は備品のグループをA～Eの5グループに分割し、落札がひとつの業者に集中しないよう一抜け方式を採り、Aから順に最低価格の業者を落札者とし1グループごとに業者を決定した。

それぞれ取得価格が700万円を超えているため、本来なら議決案件だが発注から納品までの手配の関係から専決でお願いしたいとの説明がありました。

委員より、今回の入札方式の全国的な事例やこの方式に決定した経緯について質問があり、工期の関係と50年に一度の一大プロジェクトであることから、1つの業者に偏らないよう一抜け方式とした。当町でもこの方式で決めた事例があると回答がありました。

続いて、6月8日の委員会では3点の議題がありました。

まず、庁舎建設事業の進捗について5月31日に庁舎の引き渡しを受けた。新庁舎は庁舎棟、庁舎西館（旧診療所棟）、やすらぎプラザの3棟を庁舎として建築確認申請しており、令和4年2月末にやすらぎプラザの改修が終わってから庁舎全体の完了検査を行う。庁舎棟、西館は7月26日の開庁を予定しているため、県に仮使用の許可を得て使用するとのことです。

庁舎棟とやすらぎプラザは、2階の渡り廊下で連結しており健康福祉課と直結するレイアウトとしている。なお、住民サービスの向上のため1階に健康福祉課の作業スペースを配置し、従来の窓口業務などに対応できる体制を整えているとの説明がありました。

また、新庁舎における電話機には録音機能が備わっており、住民サービスの向上のため、まずは総務課、税務課で自動通話録音を計画しているとのことです。

続いて、債権管理室の廃止について説明がありました。

債権管理室は設置から10年が経過し、滞納債権の回収が進んだ結果、業務量

が少なくなっていること、人事異動により債権回収のノウハウを持った職員が債権管理室や税務課以外に配置されていることから、滞納債権の管理は税務課を中心に各債権担当課が所管する体制とし、債権管理室を廃止したいと説明がありました。

委員より廃止は理解できるが、専門的な人が寄り添って相談することによって回収率が上がってきたと思うので、そのあたりはどう考えているかとの質問があり、債権管理室としては廃止となるが債権の相談の事例や、対策会議の事務局を税務課に移して対応していくとの回答がありました。

続いて、例規改正の方式について説明があり条例等を改正の際に、現在、土庄町が使っている「改め文方式」を「新旧対照表方式」に改めたいと説明がありました。理由としては「新旧対照表方式」は改正箇所が分かりやすいなどのメリットがあるほか、香川県もすでにこの方式に移行しており、国も新旧対照表方式による改正を積極的に推進していることによるものです。

続いて、企画財政課より辺地に係る総合整備計画の変更について、対象事業に辺地対策事業債を活用するため計画の変更をすると説明がありました。変更内容は、四海分団のポンプ車購入事業の追加及び沖之島架橋の進捗状況に合わせた事業費の変更です。辺地対策事業債については充当率 100%、普通交付税算入率 80%となっているとの説明がありました。

次に、地域おこし協力隊について説明がありました。活動期間を 3 年とし、地域や産業等の活性化、新たな魅力等の掘り起こしなどにつなげるために協力隊を採用しており、現在の隊員数は 5 名であるとのことでした。

今年度は、畜産業振興（小豆島オリーブ牛関係）と水産業振興に 1 名ずつ採用予定。今後の募集予定としては、豊島地区の農業振興 1 名、域学連携と移住・定住促進活動において 1 名を募集する予定であると説明がありました。

委員より、今まで町では地域おこし協力隊の意見を取り入れてどのようなことをしてきたかとの質問があり、昨年度は、移住・定住に関しては促進活動の一環として NPO 法人 T o t i e（トティエ）と連携して島暮らしの手引きや、空き家の掘り起こしを行うため、空き家の所有者を対象に今後の利活用について「おうちスマイルハンドブック」という冊子を作って発行したとの回答がありました。

委員より、活動期間が終わった人のうち何人ぐらいがこちらに残っているかとの質問に対し、これまでに 3 名の方が卒業し 3 名とも土庄町に在住しているとの回答がありました。

また、農業の分野で中心となって農業で生活できる仕組みを作ったり、水産業において加工に取り組んでもらうなど、産業を下支えできるような地域おこし協力隊を募集して土庄町で活躍してほしいとの意見があり、的を絞った内容

で募集をかけるようにしたいとの回答がありました。

続いて、ふるさと納税について報告がありました。令和 2 年度の実績は、寄附件数 1 万 3058 件、寄附金額 2 億 194 万 2 千円で、令和元年度と比較すると件数で約 1.8 倍、寄附金額で約 1.7 倍の増となっている。

令和 2 年度については寄附を増やすため、ポータルサイトを 3 サイトから 10 サイトに増設した。登録事業所及び品目数は 52 事業所、402 品目となっている。今年度は、さらなる寄附の増加を目指し 7 月に JAL、8 月に三越伊勢丹のポータルサイトを増設予定のほか、町独自のポータルサイト開設も検討しているとの説明がありました。

委員より、ふるさと納税の制度を使って小豆島、土庄町の良さを発信していく考えはないのかとの質問があり、町長からお礼状を送付していたが件数が多くなり、やり方を変えることにした。今後は PR も兼ねて返礼品の送付の際に、一部の業者にパンフレットを入れてもらうことなどを考えているとのこと。

委員より、郵便局の見守りサービスをふるさと納税にしている例もあるが、「もの」ではなく「こと」のふるさと納税を行う考え方はないのかとの質問があり、土庄町も導入できるよう手続きを進めているとの回答がありました。

また、リピート率について質問があり、1.5 割ぐらいとの回答に対してリピーターの方に商品の希望調査をするなど、情報を分析してデータ化してほしいとの意見がありました。

次に、建設課より沖之島離島架橋事業について説明がありました。

前回の委員会で説明のあった懸案事項 3 点について、四海漁業協同組合の総会で意見を伺った。

1 点目の仮設栈橋設置施工に伴い、漁船の通行ができなくなることについては可決された。2 点目の漁港内での土砂処分については、漁港内の濁りに対して反対意見があり否決された。3 点目の海苔時期での港内での工事施工については、海苔養殖業者に工事施工の際に相談するという事で可決された。

否決となった土砂処分については観音寺港に埋立処分していたが、受け入れが終了したため、他県で処分をすることになれば費用がかかる。四海漁業協同組合から、他の場所の提案があったので現在、調査を行っているとの説明がありました。

現在、香川県に工事発注の設計書作成を依頼しており、仮設栈橋設置・仮締切工・橋梁下部工のうち予算の範囲内でどこまでの範囲が施工可能か、積算している状況である。令和 3 年度予算としては、事業費 4 億 6300 万円の交付決定を受けた。国からの交付金は事業費の 3 分の 2 で 3 億 866 万 6 千円との報告がありました。

次に、渕崎都市下水路事業について大谷ポンプ場新設工事は、今年度「自動除塵機1台」「し渣搬出機1台」及び「架台1式」の整備を予定しているとの説明がありました。

また、近隣住民から指摘のあった箇所が完了し、3月下旬に家屋等の事後調査を実施した。現在、調査結果をもとに補償費の算定を行い、関係者との交渉を行っているとの報告がありました。

次に、大木戸住宅改修事業については、今年度はT-2棟の内部改修工事と電気設備及び給排水設備の改善を実施するとの報告がありました。

次に、王子前分譲地の売却については、昨年度、当初の売却価格の改正を行い、一般競争入札による売却を行ったが応札はなかった。その後、令和3年3月1日より予定価格を売却価格として先着順公募により売却を行った結果、買受申込書の提出があった。対象地の面積は312.34平方メートル、売却価格は1250万円である。

今後とも未売却地の早期売却を目指して、ホームページや広報紙等による周知に努めるとの報告がありました。

続いて商工観光課より4点説明がありました。

1点目の新型コロナウイルス感染症対策については、4月からの給付実績について報告がありました。

宿泊業に対する応援給付金は59件、1570万円、飲食業が106件、2120万円、宿泊業・飲食業の関連事業者については72件、1080万円の給付を行い、総額4775万円を給付したとのことです。

委員より、対象となる事業者には、おおむね給付できているのかとの質問があり、宿泊事業者は9割以上、飲食業は6割、関連事業者については7割以上の申請があったとの回答がありました。

次に、2点目のブランド推進委員会については、現在の予算について協議を行った現状報告と今年度の予定について説明がありました。

事業は総額3600万円で、半分が国庫補助で残りの1800万円を両町が負担するため、土庄町は900万円を一般財源から負担することになるとのことです。

また、事業の予算について、再編案に基づいて増減額の説明がありました。

今年度は3つの事業と事務局の立ち上げを行う。一つは物販・商品開発。これは、島内の飲食、物販、生産事業者を取りまとめ、ポップアップストアなど実施しながら、島外への進出について試行するものである。

2つ目は、観光・体験コンテンツであり、島内の体験コンテンツを商品化し、連携イベントの企画、販促、販売事業を行う。製造事業者と連携しながら、農地や工場見学といったコンテンツを発掘し、コンテンツを作る予定である。

3つ目は、モビリティチームで、これはバンライフ事業である。さらに、体験

スポットの企画、実行も進める。事務局は、3つの事業管理などを統括し、開発予定のアプリの管理なども行う予定であるとの説明がありました。

私も、小豆島ブランド推進委員会の一委員として、議長はオブザーバーとして、会議に参加していますが、責任の所在やアプリの周知方法についての不明点がありましたので担当課に伝えました。その件については町からブランド推進委員会に質問しておりますので、回答について執行部に説明を求めたところ、質問と回答がずれているところがあり、現在、執行部で精査し、改めて確認するとの回答がありました。

また、委員より3年の計画であるが、期間短縮や計画を途中で中止できるのかという質問があり、事業費が下がることについてはかまわないという確認は県から得ている。ただ、3年間継続で申請したのに、2年目以降取り下げることについては両町とも協議する中で改めて県、国に確認すると回答がありました。

次に、地域雇用活性化推進事業について説明がありました。

事業規模は各年度4000万円、期間は3年以内、ただし複数の市町村で行う場合は2000万円の上乗せがあるため、最大で合計1億8000万円の予算規模となる。全額、国の補助となるので町の負担はないとのこと。

3つの事業があり、1つ目が事業所向けに、既存事業所の魅力向上や事業拡大の取り組みを行うもの。2つ目が求職者向けの人材育成事業。3つ目は、事業者、求職者を面接会などでつなげる事業である。また移住者の就業確保の側面もあるとのこと。

組織体制は「地域雇用創造協議会（仮称）」を立ち上げ、両町及び両町商工会などが入る。事務局は、郡の雇用対策協議会の事務局であるNPO法人T o t i e（トティエ）が担う。6月11日に申請予定で、採択結果は8月下旬、採択されれば10月からの事業開始となる。また、町長からはブランド推進委員会と内容が重なる部分もあるので精査する必要があるとの説明がありました。

委員より、企業の力をつけることも必要だが、移住目的で就業者を募り定住してもらうには、教育、福祉、医療の充実が必要だ。これらにこの事業が使えるのかとの質問があり、福祉関係の施設が人材育成や事業所の魅力を伝えていくことも支援対象になるため、この事業をうまく使ってほしいとの回答がありました。

また、議会への説明時期が申請の直前で短すぎる。始めようとする前に早めに議会へ説明してほしいとの意見がありました。

また、商工観光課所管の今後の主なイベント状況について報告があり、8月4日の小豆島まつりは中止となったほか、主催以外のイベントではパワーボートレースワールドカップが延期となったとの報告がありました。

その他、エンジェルロードへの進入路については通常通り通行ができる契約

を締結しているとの報告がありました。

続いて、農林水産課より次世代産業育成モデル事業について説明がありました。

3月31日付で、カトーレック株式会社と小豆島やさい工房の使用契約が終了となったため、新たな事業者を公募したが応募者はなかった。現在は、工場の機能を停止し、電気・水道等は解約しているとのこと。

また、カトーレックの撤退理由の一つである虫対策について、調査の結果、建物の改修費に約100万円、空調施設改修に約250万必要であるが、工事によって完全に解決するものではなく、町としても保証のない工事を行うこともできないため、現状施設での賃借を考えている。

現在、金融機関、大学等との協議や依頼により業者の掘り起こしを行っている。また、7月から9月にかけてホームページや広報で公募するが、応募がなければ場合によっては貸出条件の見直し等を行い、再度公募していきたい。その後は、年2回程度を目標に繰り返し公募する予定としている。

工場の停止期間によっては、貸し出す前に工場内の施設機器のメンテナンスを行う必要があるので、今後補正で対応する予定であると説明がありました。

以上で総務建設常任委員会の報告を終わります。